

令和7年度（2025年度）学校評価

○野沢南高等学校（定時制課程） 学校目標

学 校 教 育 目 標
1 民主社会における正しい判断力と道義心を養う。 2 教養を高め心身を鍛えて個性を伸ばす。 3 適切な職業観を培う。
学 校 重 点 目 標（中・長期目標）
1 生活習慣を確立し、自主的・自律的に行動できる生徒を育む。 2 学習・生徒会活動・クラブ活動を通じ、自己の発見や開発のできる生徒を育む。 3 個々に適したキャリア教育を推進し、意欲的に学習に取り組む生徒を育む。 4 命と人権を尊び、豊かな人間性を育む。 5 地域から信頼される開かれた学校づくりに努める。
今 年 度 の 重 点 目 標
1 基礎・基本の定着と学習意欲の向上を目指して、授業の研究・改善とICTの活用推進を図る。 2 ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、学習環境の整備を図る。 3 個に応じたキャリア教育により、生徒の進路実現と社会的自立に向けた支援を充実させる。 4 保護者・中学校・地域との連携と情報発信を進める。 5 生徒・職員の人権意識を高め、いじめ・体罰のない安全で安心な学校づくりを進める。

○重点目標・評価の観点・自己評価（A 達成できた B 概ね達成できた C 達成できなかった）

外部(学校評議員)評価（A とてもそう思う B そう思う C 改善が望まれる）

領域	対象	重点目標	評価項目	評価の観点	自己評価	成果と課題・改善策（主な記述）	外部評価（%）
学校運営	教務	効率的な学校運営、落ち着いた環境づくり	諸行事の運営・職員会議の運営	効率的・効果的な運営と工夫がなされたか。周知徹底、効率的な運営ができたか。			
		諸行事の企画・運営・PR	諸行事・入試選抜業務の企画・運営	適切な企画・運営をすることができたか。定時制IHP等により、学校の最新情報を提供できたか。			
		地域により信頼される定時制教育の研究	定時制教育のあり方についての研究	定時制教育の課題(授業改善、生徒支援、キャリア教育、人権教育等)について、職員間で共有することができたか。			
教育活動	学習指導	基礎基本の定着と学習意欲の向上	学習計画の明示と基礎・基本の定着に向けた工夫	シラバスを作成し、学習計画・学習内容等を明示したか。生徒の理解度や進度に応じて柔軟に対応し、基礎基本の定着を図る工夫ができたか。			
			個別指導の充実	生徒の学力や資格取得希望に応じた個別指導の工夫ができたか。			

			学習意欲の向上	学ぶ楽しさや意義を見いだせるような、分かりやすい教材づくりができたか。生徒の主体的学びにつながる授業改善に取り組むことができたか。			
	生徒指導	学習環境の整備	授業を大切にする指導の徹底	授業のチャイムスタート、遅刻・早退・欠課の減少、私語や携帯等の継続的指導がなされたか。			
			校内の整理・整頓	生徒が校舎内外の清掃、教室・食堂・体育館等の後片づけを積極的にするよう指導ができたか。			
			出欠席の掌握	毎時間の出欠席を掲示板へ記入し、確認することができたか。			
	保健	生徒の自立に向けての支援態勢充実	相談体制の充実	生徒の悩みや要望を受けとめられるように、日頃から生徒との関係づくりに留意し、生徒理解を深めることができたか。			
			不登校生徒への支援	欠席の多い生徒に対し、電話連絡や家庭訪問等で連絡を密にし、必要に応じて外部との連携がとれたか。			
			学校行事への参加	学校行事に対して、「自分たちでつくり」「自分の行動に責任を持つ」意識を喚起し、学校行事への参加がはかれたか。			
	生徒会		生徒会活動の活性化	生徒の創意工夫を最大限尊重し、生徒が主体となって取り組む場面を増やすことで、自主的・主体的に行動できる生徒会を育成できたか。			
			クラブ活動の活性化	生徒の意向を取り入れた運営等、クラブ活動に積極的に参加できるような支援ができたか。また、文化部の活性化に向け努力がされたか。			
	進路指導・キャリア教育	個々に応じた進路指導	進路目標の明確化	個々の生徒の状況に応じた進路指導の取り組みができたか。			
			進路相談の充実	ハローワークとの連携、全職員の協力による進路相談体制の充実が図られたか。			
			情報提供等による就業支援	ハローワークとの連携を密にし、職場情報を提示する等、就業希望のある生徒を支援する対策をとることができたか。			
			社会性の育成	校内生活での礼儀・作法等や、社会人としての常識・マナー等の指導ができたか。			
		キャリア教育の視点に立った教育活動	キャリア教育の充実	生徒の社会的・職業的自立に向け、キャリア教育の視点に立って教育活動に取り組むことができたか。			
	人権教育	人権意識の向上と安全安心な学校づくり	人権意識啓発のための活動推進	人権教育講演会をはじめとする啓発活動によって人権意識を向上させることができたか。日常においても機会をとらえて啓発することができたか。			

			安心感を抱ける居場所づくり	いじめ予防のために日頃から注意深く生徒を観察することができたか。万一いじめが発生した場合でも、関係各所と連携して早期解決が図れるよう努力したか。			
外部連携	全般	地域に信頼される開かれた定時制教育の研究	保護者との連携	生徒の出欠席状況、その他生徒に関する学校生活の情報を保護者に連絡する体制がとられていたか。また、日頃から緊急時への対応ができる連絡体制が整備されているか。			
				「学校 HP」等で学校の様子を保護者や地域に発信し、行事への参加を呼びかけることができたか。			
			中学校や外部機関との連携	学校説明会や見学会、授業公開を実施し、生徒について情報交換や密接な連携が図られたか。			
				近隣中学校、養護学校巡回指導員等、不登校支援団体との交流や連携を緊密にすることができたか。			
			就労先との連携	定職者やアルバイトの企業と必要に応じて連絡を取ったか。			